

# 2019 年度山口市市民活動支援センターさぼらんて事業報告

(平成 31 年 4 月 1 日～令和 2 年 3 月 31 日)

## I 2019 年度さぼらんて事業報告 ダイジェスト版

気軽に相談できる雰囲気大切に相談支援を基本に、市民活動団体の大きな課題となっている人材不足、資金不足の課題を解決するための市民への啓発と寄付も含めたボランティアの参加に向けて、「市民活動の意義を伝える」「市民活動団体に寄り添う」「幅広いネットワークを生かしてつなぐ」支援を展開。基本的事業となる相談や講座以外の特徴的な支援は以下のとおり。

### リニューアルオープンイベント 集まれ！NEW さぼらんて

参加者

1,905 名

ドネーション額

200,600 円

旧拠点が立ち退きのため、9月26日(木)より、新拠点(同じく商店街20m南側)での市民活動支援業務となった。リニューアルを記念して12月5日に「集まれ！NEW さぼらんて」を開催。オープニングでは、ドネーション(寄付)パーティーにエントリーした6団体の映像や学生発表(学生の巻き込みの展望)を行った。ドネーション額は10日余りの募集期間で200,600円が集まり、得票数に応じて団体に配分した。団体ブースには11団体(2地域団体含む)の参加があり、団体PRやバザーで賑わった。15メートルの「巻き込み寿司」にもたくさんの参加者があり、当日の入館者は1,900人余りとなった。

寄付に親んでもらうために200円という気軽なドネーションチケットは効果的であったと思う。今後志を込めた寄付の流れにアプローチをかけていきたい。〔16-17P〕

### 若者の社会貢献の機会提供・ボランティアコーディネート

学生インターンシップ・  
ボランティア数

45 名

のべ

1,071 時間

2019年度もたくさんの学生がインターンシップやボランティアで登録団体との関わりを持った。その他にも学生ならではの視点を生かした地域での企画実施、団体映像づくり、学生発表を行った。

- ① ちょうちん祭りでの東日本支援バザー 9名×6H〔12-13P〕
- ② インターンシップ推進協議会からの受入れ 2名×40H〔13P〕
- ③ 県立大学国際文化学科からの受入れ 13名×60H〔13P〕
- ④ 大内コドモジカプロジェクト運営 7名×6H〔14P〕
- ⑤ 「集まれ！NEW さぼらんて」運営 7名×8H〔16-17P〕
- ⑥ 市民活動団体紹介VTR制作 3名×15H〔16-17P〕
- ⑦ さぼカフェ(学生×ボランティア・円卓会議) 4名×2H、3名×2H〔15P〕

前向きな学生のインターンシップやボランティアは団体にも高評であり、今後も活躍の場をコーディネートする必要性を感じた。学生の中には、地域とつながりたい、何かできることがあればしてみたいという貢献意欲はあるが、その活動の場や情報がないということがわかった。今後はインスタグラムも立ち上げ、学生たちのボランティア活動の場を広げていきたい。

## 市民活動へのきっかけづくり

ええやん新聞発行数

30,000 部

90 秒動画作成

6 本

平成 31 年度山口市まちづくりアンケートによると、市民活動やボランティア活動（NPO 活動）を行っている市民の割合は全体の 11.4%と少ないものの、「以前やっていた（10.1%）」「機会があればやってみたい（34.9%）」との回答は合わせると 45.0%で、市民活動予備軍ともいえる潜在市民は半数近くいることが推測される。身近な社会課題とともに、市民活動や市民主体の取り組みを市民目線で発信し、この層の新しい価値観との出会いや気づきを刺激し、まちづくりへの参加・参画のきっかけを創出するきっかけを提供。

①気軽に入れる雰囲気づくり：交流スペースが広がったのでチラシを判りやすく分類し、気軽に情報が集められるレイアウトに。〔3P〕

②「ええやん新聞」20・21 号の発行：主なターゲット子育て世代（小・中学校全戸、地域回覧等 30,000 部発行）。〔5-6P〕

③市民からの相談対応数：233 件。1/10 件はボランティアしたいという相談。〔8-9P〕

④Instagram の立ち上げ：新たな人材の巻き込みとして、学生をターゲットにして学生による発信で運営。

⑤動画作成、「集まれ！NEW さぼらんで」でのドネーション集めのために 90 秒 PR 動画を 6 本（6 団体）作成。youtube にアップし、どこでも気軽に市民活動に触れてもらえるようにした。〔16-17P〕

今後も、「一步踏み出すときにはさぼらんで」と思ってもらえるように気軽な雰囲気、共に考える姿勢で市民・市民活動団体に寄り添っていききたい。また、気軽な交流の場「さぼ lunch 会」も継続していく予定。

## 山口市に主な事務所を置く NPO 法人のリアル

寄付金合計

1,515 万円

合計収入

14.9 億円

山口市内に主な事務所を置く 80 法人中、事業報告が未公開の 20 法人（令和 2 年 3 月末現在内閣府ポータルサイトに公開されていない NPO 法人）のうち収入ゼロの 1 法人を除いた 59 法人の寄付金合計額は、15,157,504 円。寄付金収入のない NPO 法人は 35 法人。寄付金額が 100 万円を超えるのは 5 法人。認定 NPO 法人については、寄付金はすべて 100 万円を超えている。

59 法人の収入合計額は、1,498,432,896 円と前年より 1000 万円上回った。介護サービスや委託などの事業収益が全体の 9 割近くを占め、会費、寄付金、補助金が全体に占める割合はそれぞれ 1%とわずか。〔12P〕

また、提出されている報告書も 25 法人（42%）が 1 ページのみとなっているほか、平成 28 年の NPO 法改正により、平成 30 年 10 月 1 日より公告義務のある貸借対照表について公告している NPO 法人は 8 法人と留まっている。

これらを踏まえ、支援者・応援者との双方向の関係作りに向けて、わかりやすく、親しみやすい情報発信、信頼性の向上のための情報開示の支援をしていくとともに、安定した運営に向けて、多様な財源確保・寄付収入へのチャレンジを促していきたい。

**リモートワークの活用**：3 月に新型コロナウイルス拡散防止のため閉館を余儀なくされ、相談対応のみの期間が 1 か月近くあった。今後は Zoom などの活用促進にも力を入れて、状況の変化に応じて対応できるリモートワークや動画発信の体制を整え、相談や支援、ネットワークやチームづくりに生かしていきたい。

## Ⅱ 委託契約に基づく事業報告（平成31年4月1日～令和2年3月31日）

### 【基本目標】

「個性豊かで 活力のある 自立した地域社会」に向けて

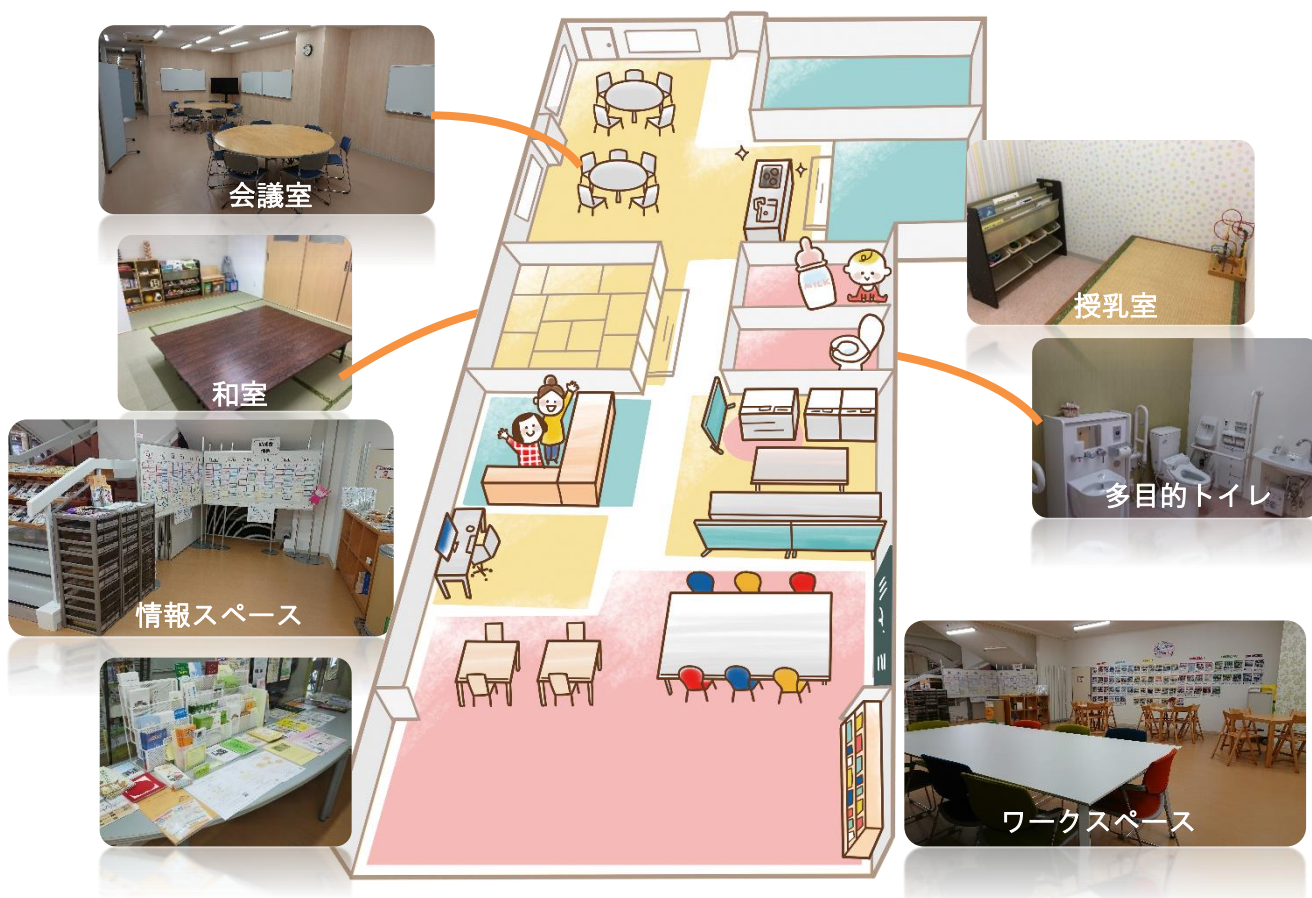
- ①市民の市民活動への参画を促進すること
- ②NPOの活動基盤の強化、NPOの自立を促進すること（公共を担う団体の育成）
- ③広くNPO・地域コミュニティ・企業・行政とのパートナーシップを図り協働によるまちづくりを推進すること

上記を基本目標に契約書・仕様書に基づき「施設管理機能」「普及・啓発及び情報収集・提供機能」「相談機能」「人材発掘・養成機能」「協働促進・ネットワーク機能」「事務局支援機能」別に以下のとおり実施。

### 1 施設管理

今年度は、山口市がリニューアル移転を行い9月26日(木)より新拠点で運営。交流スペースが従来の1.5倍程度広くなったので、各コーナー設置が可能となり、一般市民の目線も意識したレイアウトとした。

【リニューアルさぼらんで館内】



【対象別エリア】

○市民の自由な情報交差点（展示・交流スペース）

一般市民が自由に入館でき、情報収集しやすいレイアウトに。併せて授乳室・多目的トイレも

利用可能。

○団体の自由な活動形態を応援（会議室・和室・ワークスペース等）

会議・講座はもちろん、専用事務所を持たない市民活動団体の作業場としても、出来る限り活動しやすい方法で柔軟に対応。

○気軽に相談できる場（総合受付スペース）

常時2名の職員を配置し、気軽に相談できる雰囲気を大切に、登録団体との情報交換や市民の一步を応援する相談対応を心掛けた。

## （1）開館日

水曜日及び年末年始（12/29～1/3）、祝日を除いた日を基本の開館日としているが、新型コロナウイルスの拡散防止のため閉館の指示を受け3/5～3/26を閉館とし、相談業務のみの対応とした。

開館日数：276日

相談のみ対応日数：19日

完全閉館日数：71日

## （2）開館時間

9：30～18：00

※利用団体の講座などの準備に合わせて、スタッフは9時より出勤

登録団体の時間外利用は柔軟に対応

## （3）各種手続き書類の配置

### ①市民活動団体向け

- |   |  |
|---|--|
| <input type="checkbox"/> 登録市民活動団体への提供サービスのしおり | <input type="checkbox"/> 市民活動団体登録・変更用紙 |
| <input type="checkbox"/> 会議利用報告書              | <input type="checkbox"/> ブログ反映機能申請書    |
| <input type="checkbox"/> 印刷機利用カード             | <input type="checkbox"/> 機材借用書（貸出）     |
| <input type="checkbox"/> 持込みイベント申込書・報告書       | <input type="checkbox"/> インターネット使用簿    |
| <input type="checkbox"/> 窓口業務依頼申請書            | <input type="checkbox"/> 学生ボランティア依頼書   |

### ②内部用

- |   |                                  |                                  |
|---|----------------------------------|----------------------------------|
| <input type="checkbox"/> 相談カード                | <input type="checkbox"/> 機材貸出予約簿 | <input type="checkbox"/> 拠点利用予約簿 |
| <input type="checkbox"/> 日計表（日別集計表・累計表・月別平均表） | <input type="checkbox"/>         | <input type="checkbox"/> 職員業務日報  |

## 2 普及・啓発及び情報収集・提供

積極的に情報収集を行い、市民活動の意義、社会課題の共有というメッセージ性を大切に発信した。商店街にある拠点を活用し団体紹介のミニポスター展示をするなど、来館される方への普及・啓発も充実させ、ホームページへの支援情報、団体情報、講座レポートなど引き続き情報集積にも力を入れた。

また、市民目線のカジュアルな情報紙「ええやん新聞」を子育て世代の社会貢献意識の啓発を目的として、市内幼稚園、保育園、小・中学校へ配布のほか、一部地域への回覧とした。

講座など事業実施後はホームページ上にレポートを掲載するとともに、「円卓会議」や「集まれ！NEWさぼらんて」などイベント実施後はかわら版も作成し、事後の広報にも努めた。

### （1）市民活動に関わる情報の収集及び整理

- ①山口市内の市民活動情報…団体ごとの個別ファイルを作成。
- ②NPO支援情報…全国の支援情報やNPO関連図書を配置。
- ③市外の市民活動情報…全国の支援センターやNPOの情報を配置。
- ④助成金情報…年間助成金一覧表を、分野別、締切日別に作成し掲示。



年間のスケジュールや、募集中の助成金ラックを設置し、団体が助成金を探しやすい工夫をした。



## (2) 広報紙等の発行

1年間の市民活動支援の事業報告や円卓会議などのかかわら版を発行し支援内容を伝える他、団体が人材不足の課題を抱えているため、市民向けの啓発紙「ええやん新聞」にも力を入れ、市民と市民活動をつなぐ発信を心がけた。編集作業には市民広報スタッフを巻き込み、社会課題の当事者意識を広げる市民目線を大切にした。

### ① さぼらんで事業情報

#### ○ さぼらんでの平成30年度の事業報告ダイジェスト版

【対象】 登録団体・地域交流センター・関係各所

【発行部数】 600部

【形態】 A4サイズ 4P 手刷り

#### ○ さぼらんでの令和2年度の事業方針及び事業一覧

【対象】 登録団体・地域交流センター・関係各所

【発行部数】 600部

【形態】 A5サイズ 4P 手刷り



#### ○ さぼらんでかわら版

さぼらんで事業後に内容をわかりやすくまとめたものを発行

##### ア. さぼカフェかわら版 ～ボランティア×若者 善意とニーズを確実につなぐために～

【対象】 市民、登録団体、地域交流センター、関係各所

【発行部数】 700部

【形態】 A4サイズ 4P 手刷り

##### イ. さぼらんでかわら版 ～集まれ！NEW さぼらんで～

【対象】 市民、登録団体、地域交流センター、関係各所

【発行部数】 1000部

【形態】 A4サイズ 4P カラー印刷

### ② 助成金情報

#### ア. さぼらんでからのおいしい助成金情報の発行

【対象】 市民活動団体向け 隔月発行（年6回）

【発行部数】 600部

【形態】 A4サイズ 両面 手刷り

#### イ. 助成金情報メルマガ

紙媒体では伝えていない情報も追加し、全ての情報の助成元にリンクを張り、毎月メール送信

【対象】 メルマガ登録団体および担当者 21団体 25件

### ③ ええやん新聞

平成31年度山口市まちづくりアンケートによると、市民活動やボランティア活動（NPO活動）を行っている市民の割合は全体の11.4%（平成29年度よりも0.5%減）と市民活動から遠ざかる人は多いものの、「以前やっていた（10.1%）」「機会があればやってみたい（34.9%）」との回答は合わせると45.0%（平成29年度よりも1.3%増加）で市民活動予備軍ともいえる潜在市民は半数近くいることが推測される。身近な社会課題とともに、市民活動や市民主体の取り組みを市民目線で発信し、この層の新しい価値観との出会いや気づきを刺激し、まちづくりへの参加・参画のきっかけを創出し、誰もが心豊かに暮らせる山口を目指す市民を増やすことを目的とする。

## 【発行内容】

- ・発行回数：年2回（9月末／2月初）
- ・発行部数：20号…32,000部、21号…30,000部
- ・対象：市民（主に子育て世代想定）
- ・配布先：市内公立幼稚園、小・中学校、21地域交流センター、子育てひろば、山口市全地域回覧、他関係各所、20号は子ども食堂で増刷配布。

## 【特集内容・テーマ】

2019年度はええやん記者やモニター、アンケートなどからの声を受け、地域・子ども食堂、寄付という身近にあるがよく知らない、知れば一歩踏み出せる社会貢献について発信。

### <20号>特集：すべての大人と子どもが集える食堂

#### 【1面】：ええやんピープル

金子淳子さん（みんなや食堂主宰、金子小児科院長）

#### 【中面】

- ・今話題の地域食堂って何だろう？（えがお食堂よしき）
- ・レシピ「スイートポテてん」（小郡みんな食堂実行委員会）
- ・近くの地域食堂を check！（山口県こども食堂支援センター）
- ・フードバンクの謎にせまる！！（NPO 法人フードバンク山口）

#### 【4面】

- ・さぼらんで NEW OPEN！ ・さぼらんでリニューアルイベント情報 ・クイズ・編集後記

### <21号>特集：寄付でつなぐ みんなの未来

#### 【1面】：ええやんピープル

池田直人さん（株式会社 池田建設 代表取締役社長）

#### 【中面】

- ・身近な寄付のかたち（①寄付つき商品：メルシー、②ふるさと納税、③認定 NPO 法人への寄付、④ヘアドネーション）
- ・ドネーションパーティーの結果報告（さぼらんで）
- ・誰かのために僕たちができること（チャリボン、日本レスキュー協会）

#### 【4面】

- ・お寺 de クラウドファンディング（氷上山興隆寺妙見社）
- ・レシピ「マフィン型で作ろう OKARA ブラウニー」（山口友の会）・クイズ・編集後記

#### 【成果】

市民意識の啓発、市民記者の人材育成を以下のとおり評価

#### ■読者アンケート集計

20号	項目	%
	より身近に市民活動を感じた(理解・関心が高まった)	28
	社会課題(特集内容)について考えるきっかけ、共感につながった	23
	情報提供を活用	4
	はじめの一歩につながる勇気、元気、やる気につながった	17
	さぼらんでの周知につながった	7
	その他	21

「地域・子ども食堂」というタイムリーな話題に、市民からの反応が大きいように感じたそして、これまでより「これなら自分にもできる」という感覚が芽生えた人も多かったようで、一歩踏み出そう、踏み出したという人の声があった。中でも、子ども食堂でボランティア側として参加してみたいという意見も

多数あった。また、新しくなったさぼらんてにも寄ってみたいという声もあったので、さぼらんての周知、利用が増えるきっかけづくりになったのではないだろうか。

21号	項 目	%
	より身近に市民活動を感じた(理解・関心が高まった)	18
	社会課題(特集内容)について考えるきっかけ、共感につながった	37
	情報提供を活用	0
	はじめの一步につながる勇気、元気、やる気につながった	22
	さぼらんての周知につながった	0
その他	23	

認定NPO法人への寄付やドネーションなど少し難しく専門的な内容も含まれていたが「それ以上に仕組みを知れてよかった」「詳しく知れたのでやってみようと思う」などの意見があり、寄付を知るいい機会を提供できたのではないかと思う。一方、クラウドファンディングについてはインターネット経由だったり専門用語を使うためか、ハードルが高く感じたという意見があった。

■市民記者感想(今年度より、関わってくれた新米記者のコメント)

そもそも、市民活動について全くの素人の私。関わって大丈夫だろうかと不安たっぷりで始めた市民記者。素人の私には、見るもの、聞くもの、全てが新鮮でした。取材を通して出会った方々はとても魅力的で、頑張られてる姿や情熱に心が震えました。市民活動は決して遠いものではなく、自分の身近にあるのに、私が知らなかったのだということに気づかされました。知ることは第一歩なのだと思うと、良い機会に恵まれた私は幸運です。市民記者として成長できるか今後の自分が楽しみです。

■今後に向けて

新しい視点とモニター会議で改善点に挙げられていた読みやすさを追求し「文字を読む時間が取れない人にも、後から読める情報紙」を目指した工夫を加え、大幅に紙面を改善した。社会課題が自分事になり、どうやったら記事が読みやすく伝わりやすいか、どんな内容を載せたら活動の良さが伝わるかなどを市民スタッフと共に考え紙面づくりを行いたい。

④活動インフォメーション

毎月の市民活動情報の中から一般市民が馴染みやすい情報を選定し、紙媒体として発行。商店街のチラシ入れなど、広く市民の目につくところに配置。

【対 象】 市民向け 毎月発行

【発行部数】 偶数月 1050部、奇数月 660部

【形 態】 A4サイズ 両面 手刷り

(3) ホームページ

大きな変更はしていないが、ワードプレスや各種ブログの仕様変更に対応できるようにRSS機能(登録した他のサイトの情報は取得する機能)を充実中。

■アクセス数は、21,341件(58件/日)。実人数14,286人。

①まちサポ広場(電子図書館)の市民活動団体利用

登録団体(311)の基本データは全て掲載。

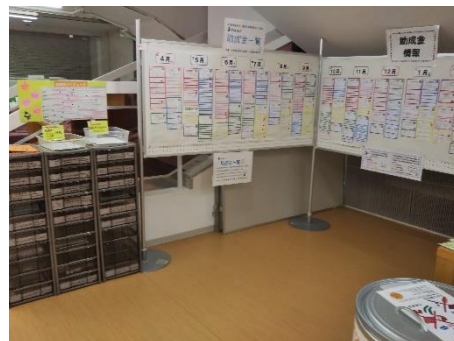
	2019年度	H30年度	H29年度	H28年度	H27年度
利用団体数	311	311	307	297	301
更新団体数	42	52	52	64	53
年間記事数	1,561	1,362	1,766	1,982	1,467

## ②ホームページ等での情報発信

お知らせ：19件 講座等レポート：9件 さぼろぐ（ブログ）31件 Facebook：58件

## （4）情報交流コーナーの活用（「さぼらんて」前面フロア）

- ①市民活動紹介コーナー：団体紹介ミニポスターを作成し掲示。
- ②助成金コーナー：展示場所を前面に出しPR。
- ③NPO法人情報コーナー：NPO法人格取得に向けて情報などを設置し、掲示がマンネリ化しないようにレイアウトを随時変更するとともに、市民活動等に関する情報を分野に分け、見出しやコメントをつけて掲示し啓発。



## （5）マスコミ等の活用

報道機関へ広報紙の配布及び事業ごとのプレスリリースを行い、団体の活動が新聞記事やTVニュースにも取り上げられた。

## （6）市役所ロビーなどにおける市民活動出張展示

写真やキャッチコピーで団体の活動内容が一目でわかる「市民活動紹介ポスター」を日頃来館する機会の少ない市民に向け、外部会場に展示する事で、団体情報の提供および、市民活動啓発になると考え開催。転入出時期に市役所ロビーで展示を行うことで、新たに山口市民のなった人へ、まちづくりへの意識向上や参加へのきっかけを促し、また市民活動への理解を深めてもらうことが狙い。



### 【展示内容】

- ・さぼらんて広報紙等（ええやん新聞、さぼらんて事業報告・事業予定、コードモジカンかわら版など）
- ・登録団体活動紹介ミニポスター60団体
- ・団体パンフレット27団体
- ・不登校児童、保護者への支援を行っている「HappyEducation」の展示
- ・発達障害啓発週間（4月2日～8日）

### 【展示場所】

開催日：平成30年3月14日(木)～4月4日(木)  
場 所：山口市役所ロビー

## 3 相 談

市民活動支援の基本を相談に置き、多様な相談に対応。特に運営相談は、寄り添い支援を基本に必要な場合は専門家と連携し対応していった。

また、商店街に設置されていることから、市民からの活動相談等も半数以上を占め、個人の活動への相談対応や、市民活動団体との橋渡しも行った。

### （1）相談・問い合わせへの対応

市民の市民活動への参加や市民活動団体の活動充実のために対面・電話・メールによる相談に応じ、助言を行い、内容によっては、他機関・窓口を紹介しマッチング。

○相談件数 538件（来所 340件、電話 198件）

○問い合わせ件数 164件（来所 103件、電話 61件）

※職員の相談カードに記載された特記事項のあるものの件数は463件（グラフ集計総数）



【対象別相談内訳】

対 象	件 数
市民	233
市民団体	119
地域	12
企業	12
その他	98
合 計	463

相談件数、内訳割合ともに横ばい。メディアに取り上げられる団体が複数あり、市外からの問い合わせが増えた。地域からは、情報発信、団体マッチングに関するものが主。企業からの相談はこれまでのつながりや紹介によるものが大半。

【団体からの相談内容種類別内訳】

団体分類	内容	件数	
NPO法人	運営	10	29
	活動	19	
	その他	0	
任意団体	運営	10	90
	活動	80	
	その他	0	
合 計		119	119

法人からの相談件数は昨年度より倍増。事務処理に関すること、他団体やボランティアとのマッチングの要望が特に多かった。任意団体からの相談は、立ち上げや助成金、情報発信等で継続・伴奏支援を必要とするものが目立った。

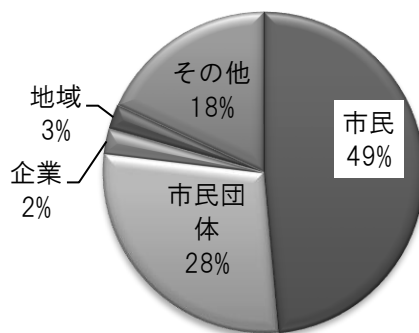
【市民からの相談内容内訳】

内 容	件数
個人的活動について	63
さぼらんてについて	29
市民団体について	109
その他	32
合 計	233

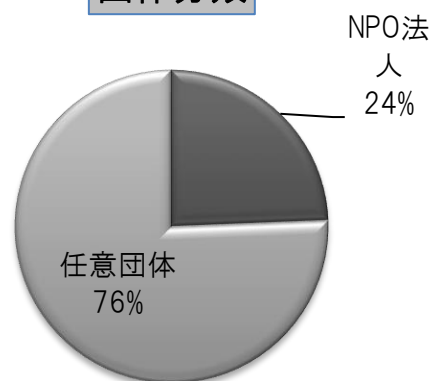
(2) 相談・問い合わせの内容の一覧化

市民からの相談の10件に1件がボランティアを希望するもので、昨年より2倍に。市報掲載後の反響が特に大きかった。移転にともない、さぼらんてに関する問合せや初来館の市民が増えた。犬猫の相談は依然として多いが、これまで大半だった譲渡や引き取りに関するものから徐々にTNRに関するものに推移している。

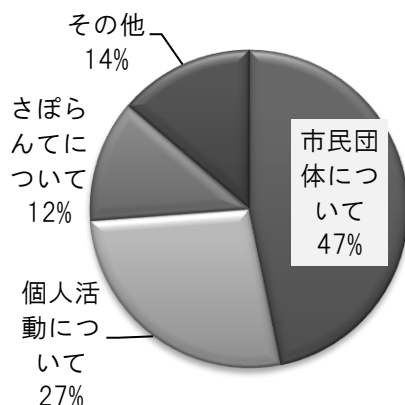
対象別相談等の件数



団体分類



市民からの相談内訳



## 4 人材発掘・養成

公共を担っていくための「社会的信頼を得られる継続的活動」に向けて、情報発信力とマネジメント力に重点をおいて、講座、研修、伴走支援等を行った。

全ての講座において、講座レポートをホームページにアップし、団体支援の情報として蓄積していった。

### (1) 講座・セミナーの開催

#### ①活動充実講座

	講座・研修	日付	講師	参加者
1	NPO 入門	5/25 9:30-12	さぼらんてセンター長 渡邊 洋子	4 団体 8 名
2	バーチャルボードミーティング（仮想理事会）	5/25 13-16	仮想理事 井野口房雄氏他 4 名	2 団体 5 名
3	映像講座及び映像制作	6/28 9:30-12	洲上 正義氏	5 団体 22 名
4	LINE 活用！情報発進戦略講座	2/25 9:30-12:30	千々松 葉子氏	9 団体 12 名

1. NPO 入門では、法人格取得に伴う法人事務（会社経営と同様）の重要さは理解されたが、そのための資金や人材をどうクリアするかが課題という意見があった。
2. バーチャルボードミーティングでは、外部の刺激的な意見をもらい、団体経営の視点の必要性を痛感した様子。
3. 映像講座には、スタッフ（学生スタッフ含む）が4か月伴走し90秒の動画を6本作成。改めて団体のビジョン・ミッションの共有ができたとの声があった。その後も団体 PR ツールとしてフル活用されている。
4. LINE 活用講座では、SNS の利用状況は変化が著しく、都度動向を意識しながら情報発信を強化する必要があるため開催。まだまだこの波に乗れない団体も多数ある。

※その他、ポップ講座、ファンドレイジング勉強会を企画したが、新型コロナウイルス拡散防止の指示を受け延期（次年度開催）にした。

### (2) 市民活動団体への運営支援

任意団体、NPO 法人含めた寄り添い支援やこれから立ち上げる団体への支援に力を入れた。

#### ①運営支援（おでかけさぼらんて）32 回

日時	内容	団体種類	スタッフ
2019/4/22	事業計画書作成サポート	任意団体	3 名
2019/5/7	同業他団体へのヒアリング同行	任意団体	1 名
2019/5/7	事業計画書作成サポート	任意団体	1 名
2019/5/10	事業計画書作成サポート	任意団体	1 名
2019/6/10	山口県立大学 SW 演習 I 「喪失を体験した人のへの支援について考える①」サポート	任意団体	1 名
2019/6/10	総会立ち合い・アドバイス	任意団体	1 名
2019/6/17	山口県立大学 SW 演習 I 「喪失を体験した人のへの支援について考える②」サポート	任意団体	1 名
2019/7/1	プレゼン資料作成サポート	任意団体	1 名

2019/7/22	「中山間地域づくり実践者のつどい」におけるグラフィックレコード	NP0 法人	1 名
2019/7/30	団体紹介 VTR 作成ヒアリング	NP0 法人	2 名
2019/8/2	団体紹介 VTR 作成支援	任意団体	1 名
2019/8/20	団体紹介 VTR 作成支援	NP0 法人	1 名
2019/8/22	映像制作打ち合わせ・専門家同行（1 回目）	NP0 法人	1 名
2019/8/22	ブログ作成支援	NP0 法人	1 名
2019/8/30	プレゼン資料作成サポート	任意団体	1 名
2019/9/2	ブログ作成支援	NP0 法人	1 名
2019/10/4	トイトイ拠点活用 WS	NP0 法人	1 名
2019/10/4	映像制作打ち合わせ（2 回目）	NP0 法人	1 名
2019/10/7	映像制作打ち合わせ（2 回）	任意団体	1 名
2019/10/21	映像制作打ち合わせ（2 回）	任意団体	2 名
2019/10/26	きらめき賞授賞式（推薦団体受賞に同席）	任意団体	1 名
2019/10/27	団体紹介 VTR 制作・専門家同行	任意団体	1 名
2020/1/11	団体立ち上げ支援	任意団体	1 名
2020/2/13	会則作成サポート	任意団体	1 名
2020/2/18	立ち上げ支援	任意団体	2 名
2020/2/21	ブログ作成サポート	任意団体	1 名
2020/2/21	宮野地区防災情報交換座談会参加	任意団体	1 名
2020/3/3	設立総会（進行・議事録）	任意団体	2 名
2020/3/12	会則見直しの相談について	任意団体	2 名
2020/3/17	助成金申請書作成サポート	任意団体	2 名
2020/3/24	助成金申請書作成サポート	任意団体	2 名
2020/3/27	団体立ち上げ支援 ビジョン等整理	任意団体	1 名

## ②アワードへの推薦

「チャレンジやまぐち！地域貢献賞」などの推薦を行った。

## (3) 企業×NPOのつながりづくりプロジェクト「支え人。」

5年目を迎えて、閉業した個人事業主の方があったものの、それぞれNPOと企業のつながりは深く安定し、よいパートナーとなってきている。

### 【2019年度実績】

**寄付金総額 169,200円**

**5年間の寄付総額 1,386,226円**

エントリーNPO法人：①認定NPO法人こどもステーション山口

②認定NPO法人支えてねネットワーク

③NPO法人あっと

協 力 企 業：①（株）メルシー

② 木のおもちゃ専門店 リンドヴルム

③ ポーラ Sweet

④（有）寿司やす

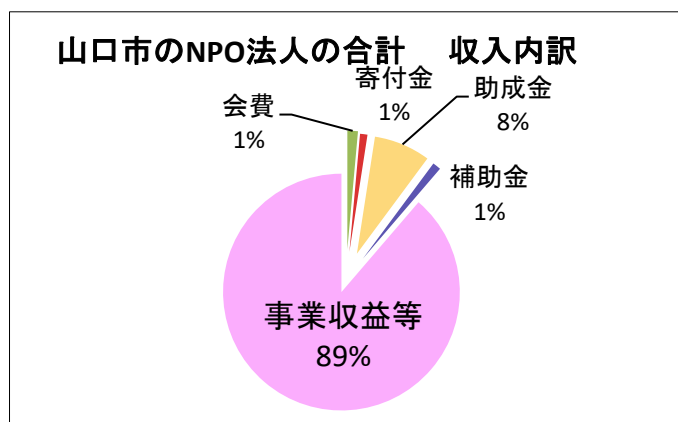
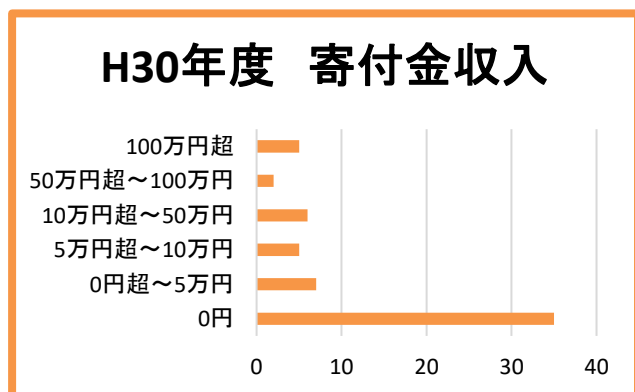
⑤ yogaroom BUGEN 華

⑥ (株) モリイケ

⑦ (有) BAY TOKYO

その他の連携：NPO法人山口せわやきネットワークへの「こどもの貧困対策連携企業」提携企業3社、自動販売機設置企業4社。

【参考】山口市内のNPO法人のリアル



山口市内に主な事業所を置くNPO法人80法人についての調査。平成28年の改正NPO法に基づく公告義務を果たしているNPO法人は8法人に留まり、今後指導の必要性がある。

寄付金のないNPO法人が35団体と半数以上を占める。年間100万円以上の寄付金収入のある団体は5法人にとどまっている。収入については、介護サービスや委託などの事業収集が90%を占め、寄付金については1%にとどまり、多様な財源確保には程遠い現状がある。

#### (4) 若者の社会貢献の機会提供およびボランティアコーディネート事業

社会貢献意欲のある学生と市民活動団体とつなぎ、社会課題や社会貢献の意義に触れる機会と参加の場を提供するとともに、双方が共通の目的・目標をもって社会課題解決に向け、活動できるようコーディネートを行なった。

日時：8月7日（15時半～21時半）※予定していた6日は台風のため祭りが中止

場所：さぼらんて

内容：①オリエンテーション

団体から：被災地の現状・課題、活動のきっかけ、活動目的・内容、今後の展望など

学生から：参加の動機、団体への質問など

この他、持ち込みイベントで同会場にいた3団体（Happy Education、徳地ワイガヤの会、ブルーライトやまぐち）から団体紹介、交流タイムを設けた。

②山口市伝統まつり山口七夕ちょうちん祭りの設営（ちょうちんの火入れ）体験。

③チャリティポップコーン販売

売上目標を設定し、調理、販売、呼び込み等役割分担を決める。

売上げの全てを東日本復興支援の活動費としてりす会山口および山口災害救援へ寄付する。

参加者：りす会山口（あらいぐま作戦in山口）および山口災害救援 4名

学生ボランティア 9名 さぼらんて 5名

その他協力：山口の街並を着物で歩こう会（浴衣レンタル、着付け）1名

チャリティ売上金額：42,400円（※全てをりす会の活動費へ）

実施ポイント：イベント開始前に、参加者全員でオリエンテーションとミーティングを兼ねた食事



会を行いチームとしての交流を深めるとともに、団体より被災地の現状や、活動への思いなどを語ってもらい、目的を共有した。

今後：りす会、山口災害救援は、今もなお継続し、慰問、写真洗浄など復興に向けて切れ目のない支援にあたっている。被災地の状況や被災者の生の声を知るこのような団体の存在は大変貴重で、若者に社会貢献の意義を伝えるのに大変有効である。参加した学生からは「自分が行なったことが西日本災害の助けになる」「復興支援に少しでも協力できているという嬉しさがあった」とボランティア活動を通して、被災地に思いを寄せるきっかけとなっただけでなく、人の役に立つことへの喜びを感じる声が聞かれた。今後も、チャリティ屋台に限らず、ボランティアやインターンシップの学生へ社会貢献の場を市民活動団体の協力のもと、提供していく。

## (5) インターンシッププログラム

山口県インターンシップ推進協議会や、県立大学の「地域学習」の中で学生の受け入れ、さぼらんに直接登録した学生など合わせて 19 名の学生を受入れた。

### ■推進協議会からの受け入れ(2名、5日間)

- 学 生 山口大学人文学部 3年(男子)、山口県立大学社会福祉学部 2年(女子)
- 期 間 令和元年 8月 22日(木)～令和元年 8月 27日(火)
- 内 容 別紙 1
- 受入団体 Happy Education、こども明日花プロジェクト

### ■山口県立大学国際文化学科(担当吉本教授)からの受け入れ(13名)

- 内 容
  - ①全体オリエンテーション:(7月 21日)
  - ②団体実習:6団体の中から1つ選び、各自計5日間程度実習
  - ③活動報告パネル作成
  - ④全体ふりかえり・報告会
- 期 間 7月後半～11月後半(大学前期日程)
- 受入団体 Happy Education、こども明日花プロジェクト、りす会山口、認定 NPO 法人こどもステーション山口、NPO 法人あっと、認定 NPO 法人支えてねッワーク

### ■令和元年度さぼらんに登録インターン(有償)スタッフ(4名)

- 内容
  - ①大内ゴドモジカプロジェクト企画・運営
  - ②「集まれ！NEW さぼらんに」運営
  - ③市民活動団体紹介 VTR 制作
  - ④さぼカフェ(円卓会議)参加※別途報告

振り返り:

- インターンシップ推進協議会を通してさぼらんにインターンシップに来た学生のうち 1 名が、インターン期間終了後も実習先の 2 団体でボランティア活動を継続、またさぼらんに事業へも参加してくれた。来年度はさぼらんに学生スタッフとして活動することとなった。
- 受け入れ団体からは、例年通り高評を得た。一人一団体訪問にしたことで学生の入れ替わりがなかったことで「任せられる」「コミュニケーションがスムーズ」という点が特に喜ばれた。
- 「実習＝単位」として参加する学生の中には、社会貢献への意欲やモチベーションが保てないためか、もしくは自身の抱える問題のため、最終日まで実習を全うすることができないものもいた。

## 5 協働促進・ネットワークに関する業務

### (1) 大内コドモジカンプロジェクト（4年目）

コドモジカンプロジェクトは①地域の宝である子ども達に、より豊かなコドモジカンが過ごせるように遊びと学びを備えた居場所を提供すること、②地域で子どもを見守る取り組みをきっかけに地域コミュニティが活性化することを目指して実施。開始当初は、長期休みの子どもの居場所を掲げて（主に①）行ってきたが、2年3年とやっていくうちに、②の地域で子どもを見守る取り組みをきっかけに地域コミュニティが活性化するという方向に変化してきた。

また、さぼらんとてとしては、学生スタッフに企画運営で関わってもらうことによって、学生の人材育成の場の一つとして位置付けている。

#### 【内 容】

今年度は、大内氷上地区に さぼらんとて学生スタッフ 3名、ボランティア学生 4名の 計7人の学生が企画、準備、運営に関わった。

#### ■氷上地区（自治会中心）

①8月8日（木）・8月9日（金）

氷上寺子屋(宿題教室、絵画教室、消しゴムハンコ、学生お楽しみ企画、夢パフェ作り)参加児童 のべ 80人

②12月29日（日）餅つき大会 参加者 20人

#### ■中村自治会

①6月29日（土） 農業体験（サツマイモの苗植え） 30人

②11月2日（土） 収穫祭（サツマイモ）・料理教室（於：合同ガス） 36人

③12月23日（月） 餅つき・試食会 24人 延べ90人

#### ■上千坊町内会

①6月15日（土） サツマイモの苗植え 25人

②7月31日（水） 草刈り等 19人

③10月26日（土） サツマイモ収穫 28人

④12月8日（日） 防災用品(マスク・エプロン・食器)作成、非常食調理・試食、サツマイモ試食 36名  
延べ108人

#### ■小野自治会

①7月25日（木） 宿題やっちゃおう、けん玉、ワイルドサンド調理・試食

②8月9日（金） 釣り、竹細工、簡単お菓子作り等、チャレンジ防災非常食

③8月10日（土） かまどご飯・カレー作り、自由研究、かき氷等 延べ120人

#### ■茅野神田自治会（青年団）

①1月12日（日） 櫻木神社境内にてどんど焼き（神社行事）・もちつき  
総勢39人(+参拝者=50人以上)

#### 【実施のポイント】

- ・中学生ボランティアを、自治会で募った。
- ・学生スタッフにコドモジカンの実施運営をしてもらった。
- ・氷上の子どもたちも交えての企画会議を行った。

#### 【振り返り】

大内でのコドモジカンも4年目を迎え、現在 5地区でそれぞれの形で継続して実施されている。

来年度も、5地区が、実施の方向で話が進んでおり、安定を見せている。大内まちづくり協議会もコドモジカンの実施主体が、単年で役員が変わる子供会では長続きしないということが、この4年間の積み重

ねから見てきたようで、新しく参戦する地域には、コードジカンの趣旨をよく理解したコアメンバーがいることが必須だということ併せて勧めているようだ。

学生スタッフが7名参加で、地区の方には大変喜ばれた。学生も本番に向けて自主的に何度も打ち合わせを行っていた。

## (2) さぼカフェ (開催2回・成果発表1回)

本企画は、どうしたらボランティアの需要と供給を確実につなげるか、ミスマッチをなくしていけるかについて、ボランティアを募集している団体とボランティアを活用している団体、そして担い手として期待される若者の意見を取り入れながらそれぞれの意見と経験談を話しあってもらうことにより、改善の糸口を見出しよりよいボランティアのマッチングに資することを期待するものである。

### 第1回『ボランティア活動を続けるうえで必要なもの』

日 時：2019年11月7日(木) 10:00~12:00

会 場：さぼらんで会議室

参加人数：13名

参加者：3団体4名、支援者4機関5名、学生4名

内 容：●さぼカフェのテーマ・趣旨説明

●自己紹介(所属団体と名前、ボランティア活動歴など)

●ふせんワーク『ボランティア活動でのテンションUP&DOWN経験』

●ワークショップ

●まとめ

### 第2回『ボランティアが集まらない理由』

日 時：2019年11月21日(木) 10:00~12:00

会 場：さぼらんで会議室

参加人数：12名

参加者：4団体5名、支援者3機関4名、学生3名

内 容：●前回のワークの振り返り

●ボランティアに関して抱えている課題について説明(2団体)

●2グループに分かれてのグループワーク

テーマ「ボランティア不足を解決する具体的な戦略を考えよう」

●グループ発表

●まとめ

### 「集まれ!NEW さぼらんで」での学生発表

日 時：2019年12月15日(日) 10:00~10:30

内 容：セレモニーの一環として、さぼカフェで出た意見をまとめ、パワーポイントで説明しながらボランティアとしての学生の活用に関する提言を発表。

(詳細は「集まれNEW!さぼらんで」を参照)

発表者：山口大学4年 高田隼平氏

上記の内容をまとめたかわら版を発行

### (3) 小鯖未来カタリバワーク

#### ① 未来カフェ等打合せ

- ア. 6月20日(木) 小鯖地域交流センター
- イ. 2月28日(金) 小鯖地域交流センター
- ウ. 3月9日(月) 小鯖地域交流センター

参加者：小鯖地域担当：松本、地域づくり協議会：木村、岩田  
さぼらんて：小田・幸徳・渡邊

#### ② 未来カフェ～おさばのカタリバ イイネするからつぶやいて～

日時：6月23日(日) 9:30-12:00

参加者：小鯖地域：25名(関係者含む)

さぼらんて：3名 計28名

背景：地域づくりに若い世代の声を反映させたいと考えている地域づくり協議会事務局の発案で実施。

目的：若い世代へのさばろっち未来カフェの認知度向上。これまで着目されていなかった子育て世代の課題を表出させる。新たな関わりを生み出し、今後の活動への参加参画、連携へとつなげる。



### (4) さぼらんてリニューアルイベント「集まれ！NEW さぼらんて」

目的：9月の拠点移動によりリニューアルしたさぼらんてのお披露目

市民活動団体と地域の交流の場を提供し新しいネットワークづくりを促進する  
「寄付」という形の社会貢献を身近に感じてもらう

開催日：令和元年 12月15日(日) 10時～16時

場所：山口市市民活動支援センター さぼらんて 新拠点

対象：市民団体、市民活動に興味がある市民

内容：①ドネーションパーティー

エントリーした6団体が、団体PR動画や、パネルを作成し団体紹介をする。参加者は200円の寄付でチケット1枚を購入し、8団体の中から応援したい団体を選んで投票。ドネーションパーティー当日に結果発表しエントリー団体に集まった寄付を配分。

寄付金総額：200,600円

【エントリー団体への配分内訳】

団体名	票数	金額
①認定NPO法人 支えてねネットワーク	109票	33,800
② ブルーライトやまぐち	121票	36,200
③ NPO法人 あっと	123票	36,600
④ こども明日花プロジェクト	84票	28,800
⑤ 認定NPO法人 こどもステーション山口	114票	34,800
⑥ 林業女子会@山口	92票	30,400
①～⑥計	643票	
団体指定なし	225票	
合計	868票	200,600



## ② 団体ブース

団体ブース又は展示 9 団体＋地域ブース 2 団体

団体ブースと地域ブースを設け交流を持ちながら各ブースでバザー、展示等を実施。

## ③ 「巻き込み寿司」

ドネーションチケットを持っている方には、長さ 15 メートルの巻きずしと一緒に巻いて食べる  
ことのできる特典付き。寄付をすることで、団体を応援する事と巻き寿司を巻いて食べられると  
いう仕組み。

## ④ 学生発表

12 月 15 日イベント当日に行う式典で、さぼらんて学生スタッフのこれまでの取り組みを発表する。

## ⑤ 団体 PR 動画作成・放映

「映像講座」で、各団体に動機付けをしてもらい、さぼらんてスタッフ、学生インターンスタッ  
フが伴走支援を行い、90 秒の PR 動画を 6 本制作し、Youtube のさぼらんてチャンネルで発信。  
また、昼休み休憩時間に、市役所や県庁で映像を流した。

## (5) その他地域づくり関連事業

### ①地域セミナー等協力事業

地域向けセミナー等に 16 回にのべ 43 名参加・協力

日付	内 容	主催	参加者数
2019/6/7	やまぐち草莽塾 0B 会	山口市 協働推進課	2名
2020/6/17	やまぐち草莽塾 事前打ち合わせ		2名
2020/7/20	やまぐち草莽塾 事前打ち合わせ 2回		2名
2019/8/20	自治会ちいとがんばっちょること語る会		2名
2019/9/12	やまぐち草莽塾① 地域づくりコーディネーター 養成講座～ファシリテーションの基本①～		4名
2019/10/3	やまぐち草莽塾② ファシリテーションの基礎②		4名
2019/10/17	やまぐち草莽塾③地域円卓会議でのファシリテー ション実践		4名
2019/11/7	やまぐち草莽塾④地域の現状分析と実態把握		4名
2019/12/12	やまぐち草莽塾⑤地域行事、イベント、事業の評価 と整理		4名
2020/1/21	やまぐち草莽塾⑥地域づくり計画の策定		4名
2020/2/20	やまぐち草莽塾⑦成果発表会		4名
2019/7/12	第 5 回あとう防災・減災講演会『備える』を忘れない	阿東防災減災 講演会実行委 員会	2名
2019/8/19	単位自治会長交流会 阿東	山口市	2名
2019/9/28	多世代交流・健康増進拠点施設整備に係る WS1 回目	山口市	1名
2019/10/26	多世代交流・健康増進拠点施設整備に係る WS2 回目	山口市	1名
2019/10/29	暮らしに合った移動の仕組みワークショップ	地福地域づく り協議会	1名

## ②地域訪問等

スタッフ4名が7回のべ13名訪問

日付	内容	地域	参加者数
2019/4/25	FB ページ作成支援	白石地域づくり協議会	1名
2019/5/17	FB ページとブログ連携支援	秋穂二島地区連合自治会	1名
2019/5/20	FB ページとブログ連携支援	秋穂二島地区連合自治会	1名
2019/6/20	小鯖カタリバ打ち合わせ	小鯖地域交流センター	3名
2019/6/23	さぼろっちカタリバ～イイネするからつぶやいて～	小鯖地域交流センター	3名
2019/10/29	暮らしに合った移動の仕組みワークショップ	地福地域づくり協議会	1名
2020/3/9	小鯖未来茶屋打ち合わせ	小鯖地域交流センター	3名

## (6) その他のネットワーク

団体の主体性を尊重し合い、有機的な効果を生み出すための自発的なネットワークへの環境づくりを心がけ、また、今年度は団体からの申し出で気軽な交流「さぼ lunch 会」を開催。今後も、市民・団体・地域・支援者の気軽な交流を促進したい。

### ① さぼ lunch 会

2020/2/7 12-14 気軽な交流を望む団体からの申し出で開催。

市民4名、団体7名、支援者4名、さぼスタッフ6名 合計21名参加

### ② 関係各所との連携に向けて、以下のとおり関係会議等に参加。

#### 【市民活動支援県域会議】

日付	会議名	主催	場所	参加者
2019/5/23	県民活動ネットワーク会議	県民活動支援センター	パルピアやまぐち	2名

※3月開催予定が新型コロナウイルス拡散防止により中止

#### 【審議会等】

日付	会議名	主催	場所	参加者
2019/5/27	シニア社会参加等意識調査検討会	山口県	山口県庁	1名
2019/9/2	山口県県民活動審議会	山口県	山口県庁	1名
2019/10/7	シニア社会参加等意識調査検討会	山口県	山口県庁	1名

#### 【その他】

日付	会議名	主催	場所	参加者
2019/6/10	JTNPO 助成事業助成金交付式	日本たばこ産業株式会社	山口グランドホテル	2名
2020/1/14	(仮称)まちづくり関係者連携の場	山口市	シヨクバ2階	1名
2020/2/13	(仮称)まちづくり関係者連携の場	山口市	シヨクバ2階	1名

## 6 市民活動団体事務局支援

専属の職員や拠点を持たない団体が活動しやすいように支援。

### (1) 市民活動団体登録制度の運用

○2019年度末 登録団体数：311団体（前年度311団体）

<NPO法人44（内認定NPO法人4）団体、

その他の法人5団体、任意団体262団体>

新規登録団体数： 8団体

解散団体数： 8団体

## (2) 登録団体へのサービス提供

### ①場の利用による支援

○団体BOX利用

要望のあった団体に、その都度設置した。

利用団体数：19団体

○会議室の提供

利用件数：257件

利用団体数：34団体

○印刷機材の提供

利用件数：166件

利用団体数：39団体

○市民活動団体持ち込みイベントへの提供

利用件数：34件(延べ利用日数86日)

利用団体数：9団体

### ②事務局機能の代行による支援

郵送物等の受け取り、イベント・講座等の「連絡取次窓口」として、市民活動団体事務局機能を一部代行。イベント・講座等の「連絡取次窓口」利用件数：30件

### ③広報支援

○「さぼらんての広報紙」発送時の同封サービス

「さぼらんての広報紙」送付時に、登録市民活動団体の情報紙やチラシを同封して送付した。

なお、送付作業への協力を得ることで、協力団体同士の情報交換を併せて実施。

利用団体数：36団体(偶数月発送作業)

○マスコミ等への広報活動の助言

市民活動団体行事等において、随時、マスコミ等への記者配布等の助言を行った。

○ホームページの団体行事カレンダーへの掲載

持ち込まれた、団体のイベントチラシなどの情報は全て、ホームページの団体行事カレンダーに反映した。

### ④機材貸出による支援

貸出機材件数：168件

□ワイヤレスマイク一式 4件

□マルチプロジェクター 38件

□スクリーン 27件

□パネル 15件

□イゼル 26件

□長機 15件

□延長コード 18件

□イス 9件

□その他 16件

## 7 その他の事業

### (1) 館内募金箱の設置

東日本復興支援のため、さぼらんてでは寄付やカンパを募り、東日本復興支援活動をする市民活動団体へと配分しました。

寄付金総額 43,855円

寄付先 ①りす会山口

②福島～山口いのちの会

③山口災害救援

上記団体に14,000円ずつの配分

### Ⅲ 運 営

#### 1 職員体制

職員の内外研修により市民活動のみならず、地域づくりへの支援力の向上に努めた。毎月の職員ミーティングにおいて、事業企画や課題への意見交換を行い、支援力を磨き、多様な団体支援に対応できる体制を整えた。また、ローテーション勤務により平日については4～6名、休祭日については2～3名の職員配置を確保し、車の乗り入れ可能な開館1時間前の9時から対応した。

○事業スタッフ6名（常勤2名非常勤5名中1名学生）、広報スタッフ2名、学生スタッフ9名（インターンスタッフ含む）

○ボランティアコーディネーションカ3級取得者5名配置  
＜NPO 法人日本ボランティアコーディネーター協会認定＞

#### 2 意見聴取

「さぼらんで」への意見・要望を、下記のとおり随時聴取し、運営の参考とした。

○市民活動団体来所時及び相談対応時における意見の聞き取り。

○「さぼらんでだより」同封作業時に協力市民活動団体から聞き取り。

○講座開催時の参加者アンケートによる把握。

○ええやん新聞における「モニタースタッフへのヒアリング」、「読者アンケート」を実施し、これまで市民活動と関わりのなかった人の意見の聞き取り。

○団体訪問や取材時における団体運営課題などの聞き取り。

○インターンシップ時にもワークを行い、幅広い世代の人と社会課題意識の掘り下げ。

#### 3 定例連絡会等

「さぼらんで」設置者の山口市協働推進課と運営NPO職員と、よりよい市民活動支援に向けて、連絡会を実施。事業実施におけるスムーズな連携、市民活動支援の意義の共有などができた。このほかにも、9月23・24日の引っ越しに向けての打合せを随時行った。また、リニューアルイベント「集まれ！NEW さぼらんで」開催に向けて、寄付集めに向けても随時打合せを実施した。

【協働推進課情報交換会等】

日付	内 容	担当課	さぼらんで
4/15	年間事業の関わりについて	2名	5名
5/10	年間事業スケジュールについて	2名	6名
7/8	移転について	2名	6名

#### 4 職員研修

中間支援力向上のために、内外多数の講座・研修に参加し、参加後は職員間で内容を共有する時間を持った。参加講座・研修28回

2月9日に実施されたボランティアコーディネーションカ3級検定においては、スタッフ5名が合格。

➤ **研修等一覧**

① 運営支援のための講座・研修等 (21回のべ60名参加)

日時	内 容	主催	場所	参加者
2019/4/23	中間支援者の強みワーク	SANY	山口県民活動支援センター 講座室	4名
2019/4/23	強み発掘ワークショップ	山口県民活動支援センター	パルトピアやまぐち	4名
2019/5/12	山口こども応援ミーティング 2019	山口こども応援ミーティング 2019 実行委員会	山口県立大学 北キャンパス	3名
2019/5/20	ソーシャルビジネス連続セミナー ソーシャルビジネス概論	山口県	パルトピアやまぐち	1名
2019/8/27	人や組織を動かす 調べるチカラ	山口県	パルトピアやまぐち	4名
2019/8/27	人や組織を動かす調べるチカラ 課題状況の把握の仕方、調べ方の講義	SANY	パルトピアやまぐち	6名
2019/8/29	非営利組織のネット活用意見交換会	県民ネット	パルトピアやまぐち	3名
2019/9/3	人や組織を動かす 調べるチカラ	山口県	パルトピアやまぐち	4名
2019/9/19	助成金の活用5つのポイント 非営利組織のための第三者組織評価の すすめ	やまぐち県民活動支援センター	セミナーパーク	1名
2019/10/19	SP トランプセミナー	県民ネット	周南市徳山駅前賑わい交流施設	2名
2019/10/24	ロジのチカラ UP 講座 フォロー意見交換会 (導入・操作編)	県民ネット	パルトピアやまぐち	1名
2019/11/15	ボランティア体験説明会	山口県	山口大学	1名
2019/11/16	セミナー「ボランティアとのコミュニケーション術」@宇部	山口県	男女共同参画センターフォー・ユー	1名
2019/11/29	kintone 活用講座	山口県民活動支援センター	パルトピアやまぐち	5名
2019/12/2	あっと児童クラブにおける寄付の教室®	NPO 法人あっと	マルシェ中市	2名
2019/12/8	第2回山口県ボランティア交流大会	山口県	山口県立大学 2号館	2名
2020/1/20	企業とNPOの協働推進マッチングフォーラム	山口県	周南市学び・交流プラザ	2名
2020/2/6	カタルタ体験会	さぼらんて	さぼらんて	6名
2020/2/8	みんなの助成金セミナー	山口きらめき財団	山口県立山口図書館レクチャールーム	1名
2020/2/9	ボランティアコーディネーションカ3級検定及び事前研修	県民ネット	県立大学	5名
2020/3/19	災害支援ネットワークづくりのための オンライン視聴&意見交換会	山口県民活動支援センター	ZOOM 参加	2名

③地域づくりや個別のテーマの研修等（7回14名参加）

日時	内容	主催	場所	参加者
2019/4/26	中間支援組織・支援センター役職員向け合同研修会～災害同時多発・少子高齢化加速時代の支援者が備えるべきスキルとノウハウを鍛える～	中国5県中間支援組織連絡協議会	岡山県総合福祉ボランティアNPO会館「きらめきプラザ」	2名
2019/5/13	明日の障害福祉を考える会	明日の障害福祉を考える会	山口県身体障害者福祉センター	2名
2019/5/31	みんなの集落研究所 阿部典子氏研修会	さぼらんて	さぼらんて	5名
2020/11/7	企業とNPOの連携「こどもの未来応援企業として」池田建設	NPO法人山口せわやきネットワーク	パルトピア	1名
2020/2/12	コミュニティ学習会～地域課題のワガコト化と住民自治組織の変革の進め方～	山口県民活動支援センター	周南市徳山駅前賑わい交流施設交流室	1名
2020/2/14	令和元年度中山間地域活性交流会 中山間地域づくり収穫のつどい	山口県	山口県社会福祉会館	1名
2020/3/23	全住民アンケート事前勉強会	山口県民活動支援センター	ZOOM参加	2名